

活動紹介!

オルゴール

オルゴールはコーラスのサークルです。会館での活動は15年目で、会員は現在40名程です。活動の前半は、歌集の中から先生が選んだ曲を、後半は、参加者がリクエストした曲をみんなで歌います。

曲目は様々で、聴き馴染のある季節の歌や今流行の歌を歌います。笑って、歌って、おしゃべりして、とても楽しいサークルです。どうぞ覗きにいらしてください。



9月の催しから

- 1(日) ピアノ文化協会コンクール
- 8(日) 川田ピアノ教室発表会 
- 15(日) くるめザコメディ 
- 16(月) 東久留米キリスト集会
- 21(土)
 - ・ SeKiRei Duo Concert
 - ・ くるめザコメディ
- 22(日)
 - ・ 菊地ピアノ教室発表会
 - ・ 大須賀コンサート(歌) 
- 23(月) ドルフィンギター発表会 
- 26(木) 稲門会・成美教育文化会館 共催映画会
- 28(土) 小美戸ピアノ教室発表会 
- 29(日)
 - ・ 片岡ピアノ教室発表会
 - ・ くるめザコメディ

これらはあくまでも予定ですので変更もございます。一般の方の参加の可否等、詳細は主催者までお尋ねください。

会館事務室から



今月の話題 — 扇子

パリオリンピックの開会式で多くの選手が扇子を持っていたことが話題になりました。近頃では若い世代を中心にハンディファンが流行っていますが、かつては扇子が簡易手動送風器として重宝され、夏の必需品でした。たまに和服を着た女性が扇子で顔に風を送っている姿を見かけますが、粋な感じがします。

扇子の始まりは日本で、平安時代のはじめ頃、檜扇が進化して扇子になったという説があります。団扇は外国生まれですが、比べて扇子はいかにも日本的です。

はじめは限られた地位の人たちの持ち物でした。室町時代あたりから庶民にも許され、能や演劇、茶道などにも取り入れられます。庶民の日常に普及し、必需品となるのは江戸時代からです。扇子は形が末広がりで縁起がよいので冠婚葬祭や贈答品に使われたり、落語や歌舞伎、踊りなど芸能、芸事の小道具にも使われたりします。他にも口元を隠す、見たくないものを扇の骨の間から見るといった使い方もありました。

面白いのは、扇子は文字通り風を送る道具でありながら、それ以外の様々な用途に使われていることです。ものが乏しかったころの日本人の知恵と感性を感じます。こうしたことは、手ぬぐいにもあてはまります。手を拭くだけでなく、鉢巻きにする。頭を覆う。物を包む。手ぬぐいも落語や踊りの小道具に使われます。

開会式での扇子は、無事に大会を終えた祝賀の気持ちと、扇子のおめでたいイメージとの重なりでしょうか。確かに広げた扇子は場を華やかにしますから。

